

大阪市学校歯科医会「報告書」

講話 ・ 研修会 ・ 授業 （記録用）	
日 時	平成28年12月1日 （14時40分 ～ 15時25分）
校 園 名	鯉江小学校
名 称	学校保健委員会
対 象	児童 保護者 教職員 学校医 学校歯科医 学校薬剤師 （約60名）
講 師	西川 肇
演 題	歯と口の健康について（咀嚼について）
講演内容	咀嚼は、歯・口、咀嚼筋、顎関節の協調が必要。よく噛んで食事することにより体に良いことを理解させる。唾液の働きも説明。よく噛むことは、脳が活性化される。
学校保健委員会の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、アンケートによる生活習慣の実態調査 歯みがきの実態調査では、各学年とも夜の歯みがきは、朝に比べて実施できている。学年が上がるにつれ、朝も夜もできている。DMFT指数の28年度は、0.05で大阪市平均よりかなり低い。 2、児童による活動報告 ポスター作製、勉強会（むし歯の成り立ち、唾液の役目など）の発表、歯のクイズの作成。かみかみセンサーを付けて、するめとスナック菓子を食べて実験結果の発表。 3 当日、ガムを使った実験（全員参加） 4 学校歯科医による講話 5 意見交流（各校医、保護者など）
質問・その他	保護者からよく噛むことの大切さがよく分かったという感想があった。フッ素入りの歯みがき剤を使った時の嗽の仕方、インフルエンザと歯みがき、仕上げみがきなどの質問があった。 養護教諭の指導のもと、子どもたちがテーマにしっかり取り組んでいた。